

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(算 数)(6-1)

発行者の番号・略称		番号	2			略称	東書
使用学年		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
教科書番号		1 1 2 1 1 3	2 1 2 2 1 3	3 1 2 3 1 3	4 1 2 4 1 3	5 1 2 5 1 3	6 1 2
項 目		所 見					
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>【単元配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の数の導入で、1～5までの構成を学習した後に、「いくつといくつ」の学習がある。一気に1～10までを学習して、「いくつといくつ」を学習するよりもわかりやすい。 ・単元のスタートに全学年までの振り返りができるページがある。 <p>【復習問題の総数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ問題が適度にあり、授業の一時間をまとめの時間としたときに適当である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のめあて」と「まとめ」が書かれており、考えのヒントも書かれているので、自主学習をするときにはわかりやすい。しかし、授業の展開や子どもの思考によって、まとめが変わってくるので、教科書通りにはいかないときがある。ヒントが思考の妨げになるときもある。 					
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・内容がまとまっていて、すっきりしているが、字が細くて小さい ・二次元コードを読み取ると、教科書にある問題や応用問題が出てくるので、タブレットでの自主学習がしやすい。 ・4～6年の教科書冒頭に、「私と算数」と題して、著名人の言葉が載っている。 					
	3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> ・色の濃淡も適切で、配置や量も良い。 					
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の入門期（上巻）はA4版になっていて書き込みやすい。 ・6年生は学年一冊で厚いので、持ち運びが重たい。 					
教 科 独 自	5. 数学的活動 プログラミン グ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング学習ができる問題が5、6年しかない。 					
6. その他 (地域の特殊性につい ての配慮)							
7. まとめ (特色及び総合所 見)		<ul style="list-style-type: none"> ・単元目標を達成させるため、思考を助けるヒントやまとめが示されている。数学的な見方、考え方につながるまとめも多く、深い学びにつなげられる。 ・1年入門期は、発達段階を意識した学習内容と造本の工夫となっている。 ・単元の始めには、単元につながる既習事項がまとめられており、振り返りができる 					

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(算数)(6-2)

発行者の番号・略称	番号	4			略称	大日本	
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	
教科書番号	1 1 4 1 1 5	2 1 4	3 1 4	4 1 4	5 1 4	6 1 4	
項 目	所 見						
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>【単元配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「大きさ比べ」の単元では、広さ、かさ、長さの大きさ比べが一気に出てくるので、内容として難しい ・5年の単元配列が、小数のかけ算→体積→小数のわり算になっている。小数のかけ算の後に小数のわり算を学習した方が子どもの思考的にもわかりやすい。 ・6年の拡大図と縮図の導入が五角形になっている。導入の素材としてはわかりにくい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元と単元間の復習問題のページに二次元コードで答えを見ることができる。自主学习をしやすい。 					
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで、作図の仕方等の動画解説が多い。 					
	3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に字や挿絵、図の色の配色が多く、濃いので目が疲れる感じがある。 ・字の大きさはちょうど良いが、空白が少なく見にくい。 					
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の入門期（上巻）はA4版になっていて書き込みやすい。 ・2～6年は上下巻がなく、一冊になっている。高学年は良いが、低学年は持ち運びをするのに重たい。 					
教 科 独 自	5. 数学的活動 プログラミング活動	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング学習ができる問題が全学年にある。 					
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)							
7. まとめ (特色及び総合所見)		<ul style="list-style-type: none"> ・1年入門期においては、実態を考えて書き込みできる教科書になっている。 ・単元の教材兼配列において、難しさがある。 ・視覚的にみて、色彩や余白から見にくさを感じる。 					

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(算数)(6-3)

発行者の番号・略称	番号	1 1			略称	学校図書	
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	
教科書番号	1 1 6	2 1 6	3 1 6	4 1 6	5 1 6	6 1 6	
	1 1 7	2 1 7	3 1 7	4 1 7	5 1 7	6 1 7	
項 目	所 見						
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>【単元配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の「大きさ比べ」の単元では、広さ、かさ、長さの大きさ比べが一気に出てくるので、内容として難しい <p>【復習問題の総数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめ問題や補充問題数が多い。また、記述で説明させる問題数が多い。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」が「課題」に近い文言がある。 ・「まとめ」の言葉が長くて、ポイントがわかりにくい。 ・「めあて」「まとめ」と書かれているので、自主学習はしやすい。しかし、丁寧に書かれているので、思考力を伸ばすのにはやや不適である。 					
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年に、算数で学習したことをSDGsに関連させた問題（読み物）がある。 ・6年の「中学校へのかけ橋」は、算数が苦手な子は中学校での数学に抵抗感がある。 					
	3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> ・図が大きいので見やすいが、もう少し小さくても良い。 ・図などで配色が多く、濃い。 ・「ふりかえろう・つなげよう」のページの背景が黒板の色（濃い緑）になっているので見にくい。 					
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の幅が広いので、机に置くのに場所をとる。 					
教 科 独 自	5. 数学的活動 プログラミン グ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え方モンスター」という項目で、算数で大切な見方・考え方をわかりやすくまとめている。 ・プログラミングが扱われている学習活動が全学年にある。 					
6. その他 (地域の特殊性につい ての配慮)							
7. まとめ (特色及び総合所 見)		<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方、考え方をまとめているところが良い。 ・「めあて」「まとめ」を示しているのは良いが、言葉がわかりにくい。 ・SDGsの視点を取り入れている。 					

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(算数)(6-4)

発行者の番号・略称		番号	17			略称	教育出版
使用学年		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
教科書番号		118	218 219	318 319	418 419	518	618
項目		所見					
教科 共通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>【単元の配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の配列が実態に合わない。1年生：大きさ比べ（長さ、かさ、広さ）や6年生：倍の計算（分数のかけ算、わり算、倍の計算）などで内容を一気に詰め込みすぎている。 <p>【復習問題の総数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末の復習問題が充実している。ただし、記述で説明させる問題が少なめ。 					
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に既習の学習内容が丁寧にまとめられている。 					
	3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> 図が見やすい。1年生：ブロックやおはじきの挿絵が、子どもたちが実際使用している物と合っていてわかりやすい。 ノートの書き方のお手本がわかりやすい。 図や数直線が丁寧に扱われておりわかりやすい。（割合、単位量あたり） 					
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> 余白が多く、すっきりと見やすい。 入門期の1年生にとって別冊教科書がないのはやりにくい。またB5版は扱いづらいのではないかな。 5, 6年生が1冊で厚いため重たいのではないかな。 					
教科 独自	5. 数学的活動 プログラミング活動	<ul style="list-style-type: none"> 「数学の見方・考え方」のページが充実している。子どもの思考を邪魔しないようにヒントが示されており、子どもの考えを引き出すことができる。 プログラミングの内容が少ない。 5年生：割合で出てくる用語が難しい。 					
6. その他 (地域の特殊性についての配慮)							
7. まとめ (特色及び総合所見)		<ul style="list-style-type: none"> その単元で大切にしたい数学的な見方・考え方が働くようにヒント等が提示されている。 挿絵や図表がわかりやすい。 1年の長さ・かさ。広さ比べを1単元内に収めるなど、配列において難しさがある。 					

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(算数)(6 - 5)

発行者の番号・略称	番号	6 1			略称	啓林館	
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	
教科書番号	1 2 0	2 2 0	3 2 0	4 2 0	5 2 0	6 2 0	
	1 2 1	2 2 1	3 2 1	4 2 1			
項 目	所 見						
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>【単元の配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入が身近なものである場合が多く、なじみがある。6年生：対称の図形 ・5年生：「割合」の単元が2つに分かれている。（「小数のわり算」の後に数量の倍関係を学習し、その後割合が出てくる） <p>【復習問題の総数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元末の復習問題が充実している。ただ記述で説明させる問題が少なめ。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」と「まとめ」がはっきりと位置づいている。ただ、子どもが自力で解決しようとするには、ヒントが具体的すぎる。 					
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの視点が入り入れられており、学んだことと関連づけて自分たちの生活を振り返ることができる。 					
	3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生のブロックの挿絵が子どもたちの使うブロックと合っていないので混乱する。 ・ノートの指導のページが少ない。 ・写真よりイラストの方が多く、色味がぼんやりしている。 ・字体（フォント）が見にくい箇所がある。 ・割合等が出てくる数直線が、数量と割合を1本で表すようになっていて難しい。 					
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生はスタートブックがあるので入門期として扱いやすい。さらにA4版なので書きやすい。 ・5, 6年生が1冊で厚いため重たいのではないか。 					
教 科 独 自	5. 数学的活動 プログラミン グ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年でプログラミング学習が位置づけられている。 					
6. その他(地域の特殊性についての配慮)							
7. まとめ (特色及び総合所見)		<ul style="list-style-type: none"> ・導入で身近な物が活用されている。 ・1年生の入門期に書き込みができ扱いやすい。 ・「めあて」と「まとめ」ははっきりしているが、ヒントが具体的すぎ思考の妨げになる。 ・SDGsの視点がある。 					

令和6年度使用小学校教科用図書調査研究報告書

教科用図書 種目(算数)(6 - 6)

発行者の番号・略称	番号	1 1 6			略称	日本文教出版	
使用学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	
教科書番号	1 2 2	2 2 2	3 2 2	4 2 2	5 2 2	6 2 2	
	1 2 3	2 2 3	3 2 3	4 2 3			
項 目	所 見						
教 科 共 通	1. 単元題材の 選定及び 組織・構成	<p>【単元の配列】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活とつながった単元が随所にある。特に6年の「データの活用」はデータを集める→問題を解決するまでのプロセスが丁寧に示されている。 <p>【復習問題の総数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元末の復習問題は、1・2年生は多いが、他の学年は少ない。学年が上がるにつれて記述で説明させる問題数が増えている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「めあて」と「まとめ」が位置づいている。筋道を立てて考えるための着眼点も「見方・考え方」として記載されているが、子どもの考える力を育てるには書きすぎな気がする。 					
	2. 文章表現、 資料	<ul style="list-style-type: none"> SDGsに関連した内容や、国籍・人種・性別など多様性に配慮した記述や表現の工夫がある。 					
	3. 挿絵・図表	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の「10までの数」は挿絵の色の数が多く、子どもによっては見づらく感じるのではないか。 1年生にノートのお手本のページがない。 					
	4. 紙質・造本	<ul style="list-style-type: none"> 1年生はスタートブックがあるのはよいが、B5版は小さいのではないか。 スタートブックは最初から文字が多く小さい。 					
教 科 独 自	5. 数学的活動 プログラミン グ活動	<ul style="list-style-type: none"> 全学年でプログラミング学習が位置づけられている。 					
6. その他 (地域の特殊性につい ての配慮)							
7. まとめ (特色及び総合所 見)		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に即した単元が随所にある。 1年生の入門期のスタートブックが使いづらい。 					